

2025年度年末手当満額獲得闘争がスタート!

要求額

基準内賃金×2.9ヶ月

回答指定日:11月19日(水)

支払い指定日:12月5日(金)

中央本部は10月23日(木)2025年度年末手当の要求として、「基準内賃金×2.9ヶ月分」を申し入れました。10月27日(月)には第2回交渉が行われる予定です。申し入れにあたり以下の内容を主張しました。

- ・輪軸組立の不適切事案が発覚して以降、全組合員が信頼回復と輸送力の確保に向けて尽力してきた。また、自然災害や津波警報、脱線事故により列車遅延が多発するなか、休日を返上して、安全最優先の対応を成し遂げた。
- ・若年退職者は依然として後を絶たず、全系統で要員需給がより一層厳しさを増している。そのなかでも、組合員の努力により輸送量は昨年を上回り、第1四半期では、連結・単体共に経常利益の黒字を達成した。
- ・25春闘において、2,000円のベースアップを実施したが、8月の消費者物価指数は前年同月日2.7%上昇している。依然として生活は厳しく、安定した生活を送るために、会社は、これまでの組合員の苦勞と努力に応える責務がある。
- ・鉄道貨物輸送の使命を着実に果たし、さらに発展させるためには、組合員のモチベーション向上と優秀な人材の確保は、必要不可欠である。そのために、生活給の要素が強い年末手当を、満額回答で示すこと。

各地の青年部レクや集会等で、青年部員の最大限の結集をはかり、年末手当満額獲得にむけた意思統一を行い、本部交渉団と一体となった、たたかいをつくり出していこう!